

朝日町立義務教育学校

# 開校準備通信

9年間の義務教育課程を一つにした新しい学校をつくります

第4号

2024.10

編集・発行  
朝日町教育委員会  
義務教育学校創設準備室

## 校名の応募状況、1次選定の結果

令和10年4月の開校に向け準備を進めている義務教育学校について、8月9日から9月16日までの期間で校名を募集した結果、合計374件の応募をいただきました。

9月26日には第12回準備委員会において1次選定を実施。2次選定に進む候補を下記12案に絞りました。今後は堀俊一教育長と準備委員会の代表者による2次選定でさらに絞り込んだあと、10月下旬の第13回準備委員会、総合教育会議を経て最終案を決定。11月1日の町制施行70周年記念式典で発表します。

応募者の内訳		応募数
一般	町内	79
	町外	26
小中学生		269
合計		374

使用された言葉	応募数
朝日、あさひ	128
ひめさゆり	25
緑が丘	24
未来、みらい	19
りんご	19
希望	9

374案のうち、「朝日」「あさひ」のつくものが128案寄せられました。町唯一の学校になることを受け、「どこの学校かわかるように」「誇れる町名なので」など、町名への想いが多数寄せられたこともあり、1次選定では全て「朝日／あさひ」がつくものが選ばれています。

	校名案	応募者の想い、1次選定時の評価等
1	あさひ未来学園／朝日未来学園／朝日みらい学園	児童生徒に未来に向かってほしい
2	学び舎あさひ／学び舎朝日	「学び舎」が町のイメージに合う。柔らかい印象を受ける
3	集学館あさひ	「学校」を使わずに、集い学ぶ場所であるという案が良い
4	あさひ学館／朝日学館	言葉の響きが良い
5	あさひ義務教育学校	シンプルでわかりやすい
6	あさひ希望の森学園	希望ある明るい学校でのびのび育てほしい
7	あさひの学び舎	あえて〇〇学校とはつけないことで堅苦しさが和らぐ
8	あさひ緑が丘学園	みんな知っている緑が丘。緑に囲まれた地で、子どもたちが伸び伸びと楽しく学校生活が送れるように
9	大朝日学舎	町のシンボルの山、大朝日岳を望む学舎で、大自然の恵みや揺るぎない人間形成を育めるように
10	朝日希望学園	「希望で登校、感謝で下校」と言われるように、未来に向かう子どもたちが希望をもって学べる場に
11	朝日学舎	全ての町民にとっての“学び舎”となしてほしい
12	朝日学校	あさひまちの学校がすべて合わさったから

# 施設等に関するアンケートの結果

9月2日から9月27日の期間で義務教育学校施設等アンケートを実施しました。多くの方からご回答いただき、誠にありがとうございました。貴重なご意見を多数頂戴することができました。皆様からいただいたご意見は、今後の学校創設に活かし、よりよい学校施設づくりに役立てていきます。

## 【対象者および回答状況】

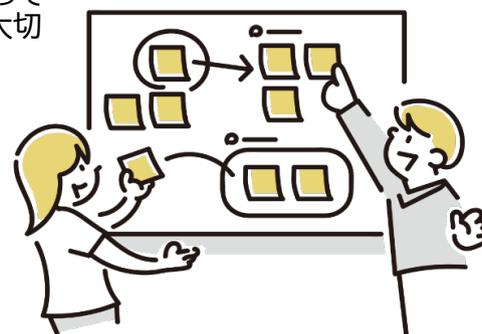
項目	件数	割合
保護者(0歳～15歳)	162	45.6%
一般(保護者以外)	36	10.1%
各種教育関係会議・審議会委員、文化・体育施設利用者等	57	16.1%
町職員(学校以外)	66	18.6%
学校教職員	34	9.6%
合計	355	100.0%

## 【学習空間で特に充実させたい空間や設備(7項目から最大3つまで選択)】

項目	件数	割合
教科の充実を図るための機能的な教室(教室の広さ、使いやすさなど)	214	22.5%
ICT教育を推進するためのタブレット・電子黒板等が使いやすい空間、設備	187	19.6%
充実した体育施設(体育館・グラウンド・武道場など)	175	18.4%
自ら学ぶ、主体的に学ぶための学習空間	169	17.7%
学年・学級の垣根を越えて活用できる共有空間(多目的スペース等)	139	14.6%
少人数で学べる空間	64	6.7%
その他	5	0.5%
合計	953	100.0%

## 【学習空間を充実させるためのおもな意見(総数71件)】

- ・教室内にタブレットや電子黒板等を常備、壁全体がホワイトボードになっているといい。
- ・学校機能だけでなく、地域に開かれた学校というコンセプトであるため、「学校の先生等が維持管理しやすく、民間の利用者が使いやすい施設」にすることを優先順位高めに設定すべきだと思う。
- ・開放感がありすぎても、子供の気が散って学習に集中できなくなってしまうのではないかと心配があるので、ある程度の仕切りは大切にして欲しい。
- ・窮屈でない教室整備、支援学級の生徒が落ち着ける場所をお願いしたい。



【生活空間で特に充実させたい空間や設備(10項目から最大3つまで選択)】

項目	件数	割合
冷暖房や照明	242	24.3%
トイレ	181	18.2%
ゆったりくつろぐことができる空間	119	11.9%
木のぬくもりのある空間	118	11.8%
カウンセリング空間(心の教室等)	108	10.8%
ビオトープ(生き物が生息する草地や池)	74	7.4%
収納スペース	62	6.2%
水場・水道の数	59	5.9%
廊下の広さ	32	3.2%
その他	1	0.1%
合計	996	100.0%

【生活空間を充実させるためのおもな意見(総数72件)】

- ・1年生から9年生までが、日常的に交流できるような教室の配置になればいい。
- ・休み時間などにゆっくり出来る空間、1人になれる空間があれば次の授業に集中出来ると思う。
- ・いろんな特性を持つ子がいて、照明や音に過敏で学校に行くことが困難だと感じる子もいます。その子たちも安心して教室に入れる校舎を作ってほしいと願います。
- ・後々掃除をしたりするのも子どもたちになると思うので広ければいいというわけではないと思います。コンパクトにできるところはコンパクトにするのが大事かと思います。
- ・トイレの安全は精神安定にもつながるので、明るく、広く、作ってほしい。

【給食の自校調理についてのおもな意見(総数211件)】

給食

- ・地産地消で地域とのつながりや温かい給食の提供、学校に通う楽しみができるので、自校調理がいい。
- ・調理師さんの苦労や愛情を感じながら、温かくおいしい給食が食べられることは幸せだと思います。作る姿が見えるつくりだと、なお食育につながると思います。
- ・希望者には町内の高齢者宅への提供も行えないだろうか。
- ・教室や食堂だけでなく、カフェテリア的な飲食自由なスペースを設けてもいいと思う。
- ・給食センターにまかせた方がいいと思う。
- ・自校調理に賛成。調理が委託であっても、これまで言われている「おいしい給食」を継続してほしい。

【通学方法についてのおもな意見(総数136件)】

通学方法

- ・北部地区も、学校の下校時間に合わせたスクールバスがいいと思います。
- ・山交バスの利用有無については、義務教育学校だけの問題ではなくなるので(高校生や日常利用している人)、関係部署とも協議をお願いします。
- ・徒歩が可能な地区はぜひ徒歩で。体力もつくし、地域の人とのコミュニケーションは大事。
- ・山交バス利用は様々な問題があると思うが、スクールバスでは学べない社会性を学べると思う。
- ・現在、山交バス通学生は、時には1時間以上待つ下校したり、バス時間のため活動が制限されたりしています。低学年などの下校時間を山交バスの時刻に合わせられるのか(山交バスの運行本数を増やせば別ですが)不安でなりません。やはり、全方面スクールバスが教育課程上、自由度が高いと考えます。

【学校とのかかわりについて、今後学校教育活動に関わる協力を依頼された場合、何らかの形で関わりたいと考えるか(※教職員除く)】

項目	件数	割合
積極的に関わっていきたい	41	12.8%
ほどよく関わっていきたい	182	56.7%
それほど関わりたくない	35	10.9%
全く関わりたくない	2	0.6%
どちらとも言えない、わからない	61	19.0%
	321	100.0%

【学校とのかかわりで子どもたちに教えたいことや一緒に取り組みたいこと(選択制限なし※教職員除く)】

項目	件数	割合
地域の文化や祭り	147	22.8%
地域の自然	120	18.6%
スポーツ活動	120	18.6%
手芸や絵画など	73	11.3%
地域の歴史	71	11.0%
未回答	49	7.6%
昔遊び	36	5.6%
その他	29	4.5%
	645	100.0%

#### 【その他のおもな内容】

様々な職業に関する知識・情報、外国語、読み聞かせ、生きるために必要な知恵  
茶道、華道、山遊び川遊び、多文化理解、一緒に料理をつくる、一緒にボランティア活動

#### 【図書館の地域開放について】

義務教育学校創設に合わせて学校図書館と町立図書館を一つにすることを検討しています。学校施設を地域コミュニティ活動や大人の学びの拠点としても活用する目的のほか、学校図書充実、町立図書館の利用率向上も想定しています。現在の町立図書館は、分館として幼児や児童図書を中心に規模を縮小して運営し、新しい図書館を本館とすることを想定しています。これについて、意見をお聞かせください。

項目	件数	割合
賛成	168	47.3%
どちらかと言えば賛成	96	27.0%
どちらかと言えば反対	32	9.0%
反対	13	3.7%
どちらとも言えない、わからない	46	13.0%
	355	100.0%



【図書館の地域開放についてのおもな意見(総数100件)】

図書館

- ・勉強できる場所、ゆっくり本が読める場所、喫茶ができる場所、自由に利用していい個室が夜8時くらいまで使用できればいいと思う。
- ・併設については賛成ですが、本館・分館とすることで、その分人件費もかかると思われるため、分館は残さなくても良いのではないかと思います。
- ・古くなった公共施設は解体し、コンパクトにまとめて使用することを前提に考慮する必要があると思いますので、体育館同様学校に併設は賛成です。
- ・西川小学校の図書館は町民に開放しているが、特に問題はなかったように思う。
- ・現在の創遊館についても、保育園帰りの利用があるので、できれば絵本コーナー子育て関連に特化、充実の上、残して欲しい。
- ・年代問わずすべての人がさまざまな種類の本に出会えるのが公立図書館の魅力だと思うので、客層のために完全に離れた場所に分散するのはベストではないと思います。

【体育館の地域開放について】

新設する体育館に、将来的に町民体育館機能を持たせることを検討しています。具体的には、簡易な観覧席の設置、雨天時や冬場も利用できる屋内ランニングスペースの確保などを検討中です。

現在の町民体育館は、昭和48年の建設で、築50年を超えています。平成25年度に耐震改修工事を実施していますので安全面に問題はありますが、長期的な視点で考えると利用可能な期間は、あと10年～15年程度と見込んでいます。町の現状を考えると、その後解体して建て替えることは難しく、新しい学校の体育館に町民体育館の機能も持たせることが現実的と考えています。これについて意見をお聞かせください。

項目	件数	割合
賛成	235	66.2%
どちらかと言えば賛成	80	22.5%
どちらかと言えば反対	7	2.0%
反対	5	1.4%
どちらとも言えない、わからない	28	7.9%
	355	100.0%

【体育館の地域開放についてのおもな意見(総数79件)】

体育館

- ・町民体育館として建設するのであれば、簡易的な観覧席ではなく、立派な観覧席を作った方が良い。
- ・これから部活動の制限もあるため積極的に外部利用者に貸出し町民が観れる施設活用すれば子どもたちもスポーツに意欲的になると思う。
- ・軽スポーツやサロン(輪投げ、パターゴルフ、グラウンドゴルフ、将棋など)が常設されればお年寄りも利用できるかも。簡単なトレーニングルームもあれば若い人の利用も増えて相乗効果が生まれそう。
- ・賛成だが、各部活動が活発になった時に町民へ貸出が出来なくなってしまうのではないか。
- ・各地区の現在ある小学校の体育館の利用でいいと思う。
- ・屋内ランニングスペースの確保をしてほしい。屋外部活動やマラソンクラブ、ウォーキング教室などの活動が雨天時や冬場も利用可能となることで、町民の健康維持、体力向上が期待できると思う。

**【現在使用している校舎の利活用について(※教職員除く)】**

新たに学校を新設するにあたり、現在使用している4つの校舎(跡地)の利活用についても検討を進める必要があります。これについて意見をお聞かせください。

**【西五百川小学校・校舎について】**

項目	件数	割合
利活用	71	22.1%
解体	128	39.9%
わからない	122	38.0%
	321	100.0%

**【利活用のおもな具体案】**

塾、避難所、宿泊施設、会社の事務所、飲食店、文化財等の資料館  
 避難所や倉庫としての貸し出し、またはホテル、肝試し会場

**【宮宿小学校・校舎について】**

項目	件数	割合
利活用	81	25.2%
解体	136	42.4%
わからない	104	32.4%
	321	100.0%

**【利活用のおもな具体案】**

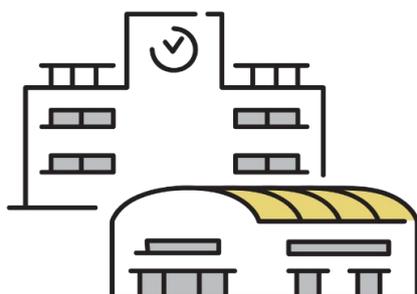
レンタルオフィス、芝生公園、スポーツ拠点施設、企業等のIT拠点  
 健康のため、卓球使用できれば行く(利用する人がいなければ解体)

**【朝日中学校・校舎、体育館について】**

項目	件数	割合
利活用	75	23.4%
解体	145	45.2%
わからない	101	31.5%
	321	100.0%

**【利活用のおもな具体案】**

文化活動拠点、景色がいいので宿泊施設、企業誘致  
 高齢者施設誘致、農地利用、サテライトオフィス、バス車庫、除雪基地



# 小中学生が考える 新しい学校に 「あったらいいな」と思うもの



だれもがわくわくする学校(施設)にするために「こんなものがあったらいいな」「こんな場所があったらいいな」と思うものについて、276名の児童生徒のみなさんから回答していただきました。いただいたご意見は、新しい学校づくりに役立てていきます。おもな意見は下記をご覧ください。

## 学習環境

いつでも工作や創作活動ができる場所  
教室が広くて、黒板も大きいのがいい  
入った瞬間、異国を感じてワクワクする英語室  
実験や調査や工作ができる場所  
ホワイトボードやスクリーン  
wi-fi環境が整った教室、iPad、電子黒板  
全教室にとびらがほしい  
図工室を休みの日に家族や友だちと使いたい

## 静かな場所

みんなでくつろげる部屋  
静かで一人でゆっくりできる落ち着いた空間  
相談できる教室  
自習ができるしずかなところ  
半個室のようなゆったりとくつろげる空間

## 運動施設

ボルダリングやクライミングができる壁  
ダンスができる教室  
冷暖房のある体育館  
雨や雪が降っても練習できる室内練習場  
トレーニングルーム  
温水プール  
災害が起きても頑丈で安心できる体育館

## 自然環境

生き物や動物を飼える場所や大きな池  
野菜を収穫できる畑  
花がたくさん咲いている広場、中庭  
きれいな空を見られる、柵がある屋上  
緑に囲まれた広場、ベンチ  
たくさんのさくらの木  
噴水、展望台  
建物の中に公園



## 生活環境

広くて長い廊下や広い階段  
きれいなトイレ  
バスの待ち時間に遊べるスキマクラスのような部屋  
食堂、選べる給食(バイキング)  
防音室がほしい  
子ども会議ができる場所  
放送室に優れた機材があったらいい  
学年を越えた交流のスペース、広い場所

## 図書室

大きくて広い図書室  
くつろげるイス、ふかふかのイス、大きなソファ  
みんなで読める本  
多種多様な種類の本  
明るいライト

## 遊びの環境

ブランコを増やしてほしい  
大きい滑り台、トランポリン、てつぼう  
グラウンドにアスレチック  
スピードが出る遊具  
昔のおもちゃで遊べる場所  
中で遊べる遊具がほしい  
yogibo(ヨギボー)、ハンモック

## その他の設備や備品など

映画を見られるような部屋  
二重窓と網戸  
売店(やきそばパン、かき氷、ジュース)  
りんごジュースがでる水道があったらいいな  
西小、宮小、大谷小を思い出すことができる場所  
生徒と町民が共有できるスペース  
年配の人や障害がある人のためのエレベーター  
冷たい水が飲めるようにしてほしい  
人が通りやすい広い昇降口

# 施設等アンケート以外のご意見

義務教育学校創設に関しては、基本構想・基本計画の公表以来、施設等アンケート以外でも様々な形でご意見をいただいています。以下、地域説明会とパブリックコメントの状況、主なご意見についてお知らせします。

## ◆地域説明会（7月29日～8月8日、開催数6回、参加者 63 人、意見 20 件）

意見	回答
通学方法はどのように考えているのか。	建設予定地が宮宿地内なので、宮宿小、朝日中の通学方法を基本として考えていきます。
(にぎやかな) 小学校の子どもたちが近くにいて、高校受験を控えた9年生は勉強に集中できないのではないか。	校舎は日常的に異学年交流が生まれやすい造りにしたいと考えていますが、落ち着いて学習できる環境についても十分配慮いたします。
(現在配置されていない) 技能教科の教員は全員配置してもらえるのか。	現在の朝日中と同様、9教科すべての教員が配置されるわけではなく、不足する分はおそらく他校と兼任の教員や非常勤の教員でカバーすることになります。ただし、義務教育学校の特性を生かし、小学校（1～6年生）の教員で教えられる場合は対応も可能です。
町の学校施設の歴史を振り返ると、新たな校舎を建設してから 20～30年程度で閉校となった学校が多い。これに加え、今度は大谷小学校も築 30 年未滿で閉校しようとしている。未来の児童数はある程度見通せるはずなのに、腹立たしさを覚える。その予算をほかの事業に使えるのであれば、もっと豊かな町で、幸せな暮らしを送れたかもしれない。予算の使い方をもっと考えてほしい。	学校建設には大きなお金がかかります。国の補助金がた出るとはいえ、その原資も税金です。それゆえ、すでに閉校した学校をはじめ、大谷小がもつたいないというのは当然理解しています。今ある小学校の今後については、今年度中に検討組織を立ち上げ、地域の皆さんにも考えていただきたいと思っています。今回の義務教育学校整備は統合ではなく、新校の創設になります。現校舎の利活用と同様、町民の皆さんの理解を得ながら事業を進めていきます。

## ◆パブリックコメント（募集期間…8月1日～23日、意見者5人、意見12件）

意見	回答
(学校施設の地域開放に関して) 地域の方も利用できるようにすることはいいが、不審者対策も必要だ。	学校施設の地域開放はセキュリティの確保とセットで考える必要があります。顔認証システム等最新技術等も取り入れながら検討していきます。
町民プールは50mプールで水深も深く、小学校の水泳授業では使えない。	義務教育学校の開校までに改修を行う予定です。
学校側と緑が丘公園を行き来する際の安全性を考慮し、陸橋や押しボタン式信号が必要。	交通量を見ながら必要性を判断します。
1学年1クラスの想定だが、2クラスにして少人数（15人程度）で編成してほしい。	学級編制の標準（1学級における児童生徒数）は、法令により定められているため、これに則って学級編制を行います。

※校名募集および施設アンケートの詳細、説明会等でいただいたご意見と町の回答は全て町ホームページ上で公開しています。

問合せ

朝日町教育委員会 義務教育学校創設準備室  
☎ 67-3302 / junbi@town.asahi.yamagata.jp

朝日町義務教育学校

検索